



本校では、様々なSSHプログラムに参加し、他校の生徒との情報共有や協働での実験なども行っています。本年も夏休みを利用して、次のような4つのプログラムに参加しました。

- ① 兵庫咲いテク『第2回シミュレーションでみる科学の世界』 2名
- ② 兵庫咲いテク『第8回 科学交流合宿研修会』  
サイエンス・コラボレーション in 武庫川 4名
- ③ テルモ科学技術振興財団 サイエンスカフェ 2名
- ④ 京都大学サマースクール2015 1名

それぞれの生徒が希望し、選択したプログラムへ参加しています。



各プログラムでは、講師の先生の講義を聞くだけではなく、実際に本校以外のSSH校との意見交流や、協働での調査、実験・実習を行っています。そして、ともに実験やディベートを行うことで、サイエンスコミュニケーションの力を伸ばし、互いに成果を発表しあう場を数多く設けることで、発信していく技術を学んでいます。

科学交流合宿研修会において、大阪大学の小川哲生先生は、将来、学問を志し、研究をするうえで、自分から社会へアウトプットすることができる創造的な生き方を旨とすることの重要性を強調されていました。



実験や扱う装置なども高度なものが多く、英語でのプレゼンなど、非常に充実した内容となっていました。



アンケートの感想（抜粋）を紹介します。

- ・（現在のシミュレーションでは）地形を再現し、そこに水を流し込むこと等ができること知り、とても驚きました。
- ・スーパーコンピューター、「京」の実物を見た時には、その大きさもさることながら、実力にとっても驚きました。このプログラムに参加したことによって、自分の選択肢がまた一つ増え、良かったです。
- ・知らない高校生と仲良くなり、協力するという事の人間性の部分でも学ぶ事がたくさんありました。
- ・はじめて見る実験器具なども使わせていただき、貴重な体験ができました。スライドショーづくりでは、4人の班だったのでみんなで意見を出し合いながらできて良かったです。
- ・研究にはかなりの忍耐力が必要なんだと改めて思いました。
- ・器用に物を扱うことが多かったので医療分野で働く人は丁寧に、ミスしないように何でもすることが大事なんだと改めて分かった。